



堀田善衛肖像写真 (1952年/個人蔵)

今年には伏木出身の芥川賞作家・堀田善衛さんの生誕100年に当たる年です。堀田さんは江戸時代から続く伏木の廻船問屋・鶴屋に生まれ、子どもの頃から国際感覚を養い、作家となつてからも国際的に活躍し続け、数々の作品を遺しました。

また、スタジオジブリの宮崎駿監督は、若い頃から堀田さんの『広場の孤独』や『方丈記私記』などを読み、歴史と人間を深く見つめたその世界観から大きな影響を受け、大恩人の一人と語っています。

国際感覚、歴史感覚に優れ、文明や国家について鋭く論じ続けた文豪・堀田善衛について、記念講座と読書会を通して学びを深めてみませんか。

1 記念講座「今、堀田善衛を読むということ」

とき 11月18日(日) 午前10時～11時半
ところ 伏木コミュニティセンター 高岡市伏木湊町13-1
講師 高志の国文学館 主任・学芸員 小林加代子

いずれも

受講料 無料

定員 50名

(当日先着順)

※講座冒頭で「水平線と羅針盤—堀田善衛のメッセージ」(KNB 2010年)を上映

2 読書会「堀田善衛20の言葉—堀田善衛をよむために」

とき 11月23日(金・祝) 午後2時～3時半
ところ 高岡市生涯学習センター 創作工房504 高岡市末広町1-7(ウイング・ウイング高岡)
講師 高志の国文学館 事業部長 生田美秋